



版画 「チベット ポタラ宮殿」 菅谷 幸則 作



宮崎県版
No. 334
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
宮崎県本部
〒880-0031
宮崎市船塚3-193
電話 0985(26)4224
FAX 0985(20)3154
郵便振替口座
02070-9-11382

私たちの運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対すること
- 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 三、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと

相川勝六（戦前第2代宮崎県知事、戦後県選出国会議員）

について⑩ 野崎 眞公

③戦時中の相川勝六・・・

相川は宮崎県知事をはじめ広島県知事などを経て、東条英機内閣（一九四一・一〇・一八～四四・七・一八）下で、一九四二（昭和十七）年六月、大政翼賛会実践局長に就任。大政翼賛会は一九四〇年十月十二日、第二次近衛内閣の下で、新体制運動の結果、結成された国民統制組織である。し、厳しい戦局を好転させるための活動に奔走していた。（四二年後半から戦局不利）。

▲対米英蘭戦（太平洋戦争）の戦局は日々悪化の一途をたどりつつあった一九四二年の三月五日、首都東京に初の空襲警報が発令され都民は不安を覚えた。以後大本営の勝利報道（三・八 日本軍ラングーン占領、四・十一 日本軍パターン半島占領）に疑問、不安は増幅され、都民の予想

は違わず、四月十八日に米陸軍機が本土（東京・名古屋・神戸など）へ初空襲を行ったのである。同年の八月七日に、米軍はガダルカナル島に上陸。▲一方、政府・軍部のジャーナリズムへの攻撃も一層熾烈となり、注①細川嘉六（満鉄調査部嘱託の政治学者）の論文を掲載した『改造』を発禁処分にし、細川を治安維持法違反で検挙した。

（九・十四日）。また古川電機工業日光電気製銅所で徴用工らの、待遇改善要求（千五百人の署名）に対し指導者を検束した。また満鉄の調査部において、戦争批判者四十四人が検挙された。十月一日朝鮮総督府は朝鮮青年特別錬成令を制定した。戦局の悪化に大本営（天皇に直属する最高の統帥機関）はなりふり構わず国民総動員体制を強化するための行動を徹底させていった。その要を担ったのが大政翼賛会実践局であり、特高警察・思想検事は治安維持法の枠を外し、反戦・戦争批判者の取り締まり・逮捕・弾圧に奔走した。〔帝国憲法下の刑法において、逮捕・拘束された者についての拷問は禁止されていた。しかし、実態は事件のでっち上げ、自白の強要、拷問は日常的に行われており、拷問死や獄死も歴史が証言しているとおりであった〕。

▲話は一九四〇（昭和十五）年にもどるが、第二次近衛内閣は、大政翼賛会発会式の翌月十一月十日に紀元二千

六百年の祝賀式典・行事を挙行した。行事は十四日までの五日間おこなわれ全国で多彩を極めた。〔宮崎県は「八紘之基柱」（八紘一字の塔）の竣工式に合わせ十一月二十五日に実施された〕。当時の状況を年表（筆者の判断）で概略を追ってみると、11・23注②「大日本産業報国会創立」、ルーマニア政府、三国同盟に加盟。

▲一九四一年1・8東条英樹陸軍大臣注③「戦陣訓」を下達。3・10改正治安維持法公布（二年の予防拘禁制を追加）。4・1小学校を国民学校と改称。4・13日ソ中立条約調印。7・16第二次近衛内閣総辞職。7・18第三次近衛内閣成立。8・1米、対日石油輸出全面禁止。8・14ルーズベルト・チャーチル大西洋憲章発表。10・16近衛内閣総辞職。10・18東条内閣成立（首相・内相・陸相を兼任）。11・5御前会議で対米交渉不成立の場合、十二月初旬に武力発動を決意。注④12・1御前会議で対米英蘭戦を決定。

▲一九四一年十二月八日、陸軍部隊は英領マレー半島への上陸作戦を行い、海軍部隊は真珠湾への奇襲攻撃を開始、野村・来栖両大使は、ハル長官に最後通牒。一般には開戦「詔書」が出され、ついにアジア太平洋戦争に突入した。以上。

次頁に注①④について記します。

注①細川嘉六の『改造』への論文は、「世界史の動向と日本」のタイトルで掲載された。これを大本営陸軍報道部長が共産主義に基づく敗北主義であると論難、治安維持法違反として細川を検挙した。同じころ、日米交換船で帰国した川田寿（世界経済調査会）夫妻はアメリカ共産党と関係ありと推測されて神奈川特高に検挙された。これは細川が自著出版のおり、自宅に友人たちを招いたときの写真をみて、特高は共産党再建のための会議だと。事件をでっち上げたのである。横浜事件の始まりであった。（『出版ジャーナリズム小史』高文研1986年4月1日 第2刷）

注②一九四〇年、新体制運動で労働組合・労働団体は解散し、工場ごとに産業報国会が結成されたが、その全国連合団体である。総裁は厚生大臣。（新体制運動一九四〇年、近衛文麿が中心となり、ナチスやファシスタ党を模して国民組織を結成した運動）。（『日本史B用語集』山川出版社1997出版）

注③「戦陣訓」が東条英機陸軍大臣の名で全陸軍将兵に下達されたが、これは教育総監部が起草、島崎藤村・土井晩翠らも参加して作成された。「生きて虜囚の辱めを受けず、死して罪過の汚名を残すこと勿れ」という一節は捕虜になることを禁じたものであり、後に大戦中の多くの玉砕や将兵・市民の自決を生み出す原因となった。

注④期待の日米交渉も暗礁に乗り上げ、一九四一・十二月一日、御前会議で米英蘭との戦争（十二月八日）を決定した。一般向けの開戦詔書とは別に、陸海軍将兵には「陸海軍への勅語」が出された。御前会議の決定に基づき陸軍への開戦命令は、十二

月一日に大陸命第五六九号、海軍には大海命第九号で初動作戦を発令した。大本営は機密保持のために、あらかじめ厳重に密封された文書として出先司令部に公布されていた。（注③④は『外交資料 近代日本の膨張と侵略』山田 朗編 新日本出版社1997・11・25初版参照）（他は『大元帥昭和天皇の命令 I・II』大本営陸軍部「大陸命」「大陸指」解説1995・9・25発売エムティ出版参照）。

自ら語る「拷問」 馬場園 孝次

伊藤千代子さんの映画「わが青春つきるとも」が、各地での上映に向けて活動中でもあり、「自ら」語った拷問体験を、女性にしぼり数回にわたって書いていきたいと思えます。

（一）五人の刑事に滅茶苦茶にとりかこまれ、中でも強そうな一人の大男は、私を背に担ぎ上げて、畳の上へドタン！と放り出した。うつぶせに投げられて胸をひどく打った上に、三人も四人もの刑事はドカドカと私の背中に乗った。声もろくに出ない。手とり足とり、髪をつかみ、首を絞め、（略）

あらゆる残虐を尽くそうととびかかったのである。

*原菊枝（明治三十八年〜昭和二十一年）「三・一五事件」で検挙。

伊藤千代子とともに市谷刑務所で闘った。

著書「女子党員獄中記」



閑話休題

死者と逢える山「おそれざん恐山」

日高 隆

恐山は本州最北端、青森県の下北半島にあります。

亡くなった人の霊魂に逢える山として、今なお訪れる人が後を絶たない。

三途の川を渡って入山すると、火山による噴気を作る様々な地獄や宇曾利(うそり)山湖周辺に点在する三途の川、地獄谷、極楽浜などによって、仏教が説く「あの世」が目に見える形になっている。

亡くなった人がいる世界をこの世に展開して、此岸と彼岸を結ぶ死者供養の場となっている。参拝者は、賽(さい)の河原で石を積むことで、先祖や亡くなった子供などの供養ができる。

比叡山、高野山と並ぶ三大霊場の一つに数えられる。

2022年度 会費(4000円) 納入のお願い

すでに納入された方はありがとうございます。

再度、振込用紙を同封させていただきました。行き違いやご質問のある方は恐れ入りますが、ご連絡いただければ幸いです。

連絡先 鳥井 090-4340-3338

映画「**わが青春つきるとも**」伊藤千代子の生涯

*期日 3月12日(日曜日)

①午前十時 ②午後一時三十分

*会場 カルチャープラザ3階 ハーモニーホール
*チケット取扱店

延岡総合文化センター ☎22-11855
さわたり楽器店 ☎34-2572

宮崎サポーターの会延岡(甲斐和敏)

☎080-8588-3166
すばらしい映画です。ぜひ、お揃いでご観賞ください。

恐山という名の理由は

下北半島は太古の昔、宇曾利と呼ばれていた。入り江や窪地を表す「ウシヨロ」というアイヌ語の転訛という説もある。いずれにしても、太古の昔、この地方一帯には宇曾利族が住んでいたという。ところが宇曾利山の爆発による火砕流で多くの人たちが死に絶えた。宇曾利山とは現在の恐山をさす。宇曾利山が大爆発を起こした跡が宇曾利湖と呼ばれるカルデラ湖です。

恐山で有名な「イタコ」とは・・・

イタコは、死者の魂をこの世に呼ぶ「仏降し」を行う女性のこと。下北半島や津軽地方には有史以前から存在していたといわれ、巫女、巫子、夷妥弧、陰答魂、羅陀訃などと書かれて、随所に出てくる。